

大豆の種まき ～早く芽がでますように～

上根・向山地域振興会ふれあい部では、大豆・ソバの種まきから収穫までを地域の保育園児や小学校児童と一緒にしています。

当振興会では、地域にある里山や川、農地などの自然環境、地域の歴史の積み重ねによって築かれた祭りや生活文化といった地域特性を、子どもから高齢者までがともに学びあうことで、子どもたちがふるさとに愛着と親しみを感じるようになってほしいと、大豆・ソバ作りを始めました。

6月21日、八千代南保育園の年長組6人が振興会員と一粒一粒ていねいに大豆の種をまきま



した。毎年収穫した大豆は、仲よし会などに豆腐の材料として提供したり、味噌にして販売したりしています。

今年度からは「潜龍峡ふれあいの里」の交流イベントで地産地消の食材として提供し、味噌の販売にも取り組んでいきたいと考えています。

油菜の収穫

大豆の種まきを行った同じ日に、振興会員の畑で栽培していた油菜(菜種)の収穫を行いました。一級品が4斗、二級品が1斗5升ほど取れました。

純粋な食用油と交換して、レストハウスでの料理を提供する時などに使用したいと考えています。



みんなで活かそう 地域資源

特色ある地域づくり事業



住民の自主的な地域づくり活動で、特色ある事業により地域の活性化を図るものに対して行われる市の助成事業。

上根・向山地域振興会では、地域の知恵を活かし地域を活性化するために、「特色ある地域づくり事業」として昨年度で実施した「地域マップづくり」の継続事業を、今年度は次の二つの形で取り組みます。

「霧切谷」遊歩道整備事業

1. 事業の目的

「みち」は地域の歴史を語るといわれる。霧切谷を遊歩道として整備することにより、霧切谷という歴史ある道の日常的な利用を図る。また、上根から「潜龍峡ふれあいの里」を経て本郷までの地域資源を探索するルートとして整備を行い、その有効利用を図る。

2. 事業の内容

歩く環境の安全性・快適性ための階段・安全柵などの設置。

上根側・根の谷側入口までの距離を表示した案内板の設置。

霧切谷を通る地域資源の探索イベントの開催。

地域マップ探索ルートづくり事業

1. 事業の目的

「潜龍峡ふれあいの里」を拠点として、地域マップ掲載の地域資源を探索するルートをつくる。霧切谷 上根の断層 国王ヶ池 馬頭観音堂などを巡る上根ルートと、魚切滝 鍋割雄滝 本郷の棚田などを巡る本郷ルートをつくり、地元住民ばかりでなく都市住民にも上根・向山の歴史・文化に接してもらう。

2. 事業の内容

地域マップ案内板（絵マップ）を「潜龍峡ふれあいの里」に設置する。また、地域マップ掲載物件の場所がわかるように案内板を設置し、探索ルートを遊歩道として利用してもらうため、目的地までの距離や歩いた距離を表示した里程標を設置する。



上根側入口付近の急坂の安全対策が必要です

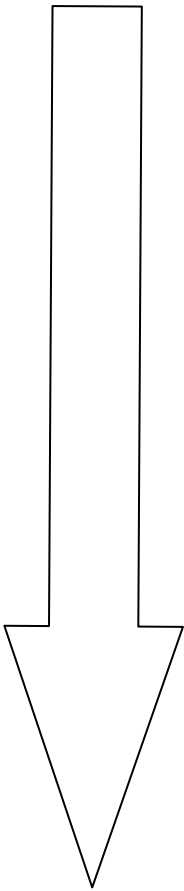
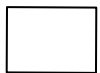
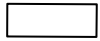


絵マップ（完成予想図）

今、なぜ、住民自治なのか？

住民自身がなぜ地域づくり活動に取り組まなければならないかという点について、明快な回答はありませんが 地方分権の推進 危機意識 相互扶助といったことが考えられます。

地方分権の推進



権限委譲を含めた地方分権の流れは、「地域のことは、地域で決める」つまり、地域の特性や実情に応じ、地域自らが活力に満ちた個性豊かなまちづくりを実現していこうというものです。確かに地方分権の流れは住民意識の中に徐々に浸透してきていると思いますが、「天の声」(地方分権一括法など)で行政の仕組みは劇的に変化しても、住民の心まではすぐ変わらないのではないかと考えられます。

危機意識

「過疎・高齢化による集落機能の低下」、「合併によって中心部だけが栄えて、周辺部は寂れる」といった危機意識により、住民の不安をやたらあおる導入の仕方は、できるだけ避けた方が良いのではないかと考えられます。当地域は、本郷、平原地区の高齢化率が高いということはあるのですが、上根・向山全体としては広島市に隣接し、交通条件なども比較的良好なことから危機意識も少ないものと考えられます。

相互扶助

やはり、なぜ地域づくりに取り組む必要があるのかと考えた時、将来この地域で暮していくのに、幸せな暮らし、充実した生活、楽しい活動はどのように実現できるだろうという視点で考えた方が良いのではないかと考えられます。これは何も難しく考える必要はなく、昔の生活の中で、お隣同士でおかずを一品届けたり醤油を借りたりして、お互い仲良く助け合っていた「相互扶助」の精神が地域づくりの原点だと考えればよいのです。

住民と行政の協働のまちづくり

ある地域づくりリーダーが、「人を大切にする人は、ものを大切にする」、「ものを大切にする人は、自然を大切にする」、「自然を大切にする人は、地域を大切にする」と話されたことがありました。当振興会は設立からもうすぐ3年目になりますが、まだまだ地域に根ざした活動ができていないのが現状です。これからの活動は「人・もの・自然・地域」を大切にしながら、「上根・向山が大好きだー」という気持ちでがんばっていきたいと思います。

「潜龍峡ふれあいの里」オープンイベント

昨年のレストハウス厨房等の改修、今月の水洗化工事の竣工と「潜龍峡ふれあいの里」の日頃の清掃活動に感謝して、オープンイベントを次のとおり開催しますので、多数ご参加いただきますようご案内します。

1. 日時 平成17年7月31日(日) 雨天決行

午前11時30分～午後2時 (但し、ヤマメ釣りは午前10時～11時30分)

2. 場所 「潜龍峡ふれあいの里」

食文化の情報発信(地産地消)

旬菜・旬食 当振興会では伝統的な食文化の継承していくために、旬の地元食材・山菜を中心に提供していきたいと考えています。

松花堂弁当(先着・限定50個)

12:00～

当振興会が栽培しているヤマブキ・オカヒジキ・ヤマクラゲなど旬の食材を使用

価格: 700円

旬の食材のバイキング 11:30～

当振興会が加工した味噌・豆腐を使った料理や山菜料理・手作り野菜料理などです

価格: 大人1人600円、小学生以下1人500円
(幼児1人300円)

売切れの場合はご容赦ください

漬物すべて無料

(多くの種類をそろえています)

価格は「感謝の心」をこめて、通常の販売予定価格よりお安くしています。

ヤマメ釣り

釣り料金: 無料(1人5尾まで)

釣り時間: 10:00～11:30まで、その後つかみ取りを行います。つかみ取りしたヤマメは塩焼きにして交流イベントの参加者に提供(無料)します。

無料バスの運行(マイクロバス)

行き: 旧根野小グラウンド前バス停を10時、10時30分、11時、11時30分出発。中上根、上根車庫、上根峠バス停に停車します。

帰り: レストハウス前を12時30分、13時、13時30分、14時出発

ビンゴゲーム

豪華賞品があります